

ポスター番号	演題名	発表者	所属
P-01	抗がん薬混合調製ロボットの導入による薬剤師の調製業務の効率化とその後の業務展開	高橋 毅行	鹿児島大学病院 薬剤部
P-02	抗がん剤曝露対策の取り組みと環境曝露調査	谷 健太郎	国立病院機構 信州上田医療センター
P-03	ゾルベツキシマブの運用ならびに使用経験	小竹 優希	和泉市立総合医療センター 薬剤部
P-04	薬剤師によるがん化学療法施行後の臨床検査所見スクリーニングと安全管理支援体制の評価	橋本 幸輝	公益財団法人がん研究会 有明病院 薬剤部
P-05	免疫チェックポイント阻害薬で副腎皮質機能低下症を発症した患者の副腎クリーゼ回避への取り組み	福永 晃右	鹿児島厚生連病院 診療支援部 薬剤科
P-06	薬剤師によるがんゲノム医療支援体制の構築	大野 梨絵	宮崎大学医学部附属病院 薬剤部
P-07	がん薬物療法におけるセントラル薬剤師のタスクシェアと業務量変化についての検討	浦田 修平	宮崎大学医学部附属病院 薬剤部
P-08	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を考える	滝澤 康志	飯山赤十字病院
P-09	エンホルツマブベドチン投与時の味覚障害に対し薬剤師介入が食欲不振改善に繋がった一例	竹迫 秀和	鹿児島市立病院 薬剤部
P-10	腎細胞がんに対するPembrolizumab + Axitinib併用療法により肝機能障害と皮膚障害を併発した1例	佐々木 正英	社会福祉法人恩賜財団 京都済生会病院 薬剤部
P-11	アミバンタマブ初回にインフュージョンリアクションで投与中止となったが翌日以降の投与を継続できた1例	青井 博志	奈良県立医科大学附属病院 薬剤部
P-12	糖尿病既往のある肝細胞がん患者の消化器症状に対して、ミルタザピンが有効であった一例	森岡 友美	鹿児島厚生連病院 診療支援部 薬剤科
P-13	ベネトクラクス + 低用量シタラビン併用療法の悪心嘔吐に、ベネトクラクスの薬物動態を考慮した、介入事例	小林 悠	横浜市立大学附属病院 薬剤部
P-14	カペシタビンでは問題なく経過したが再発時のmFOLFOX6施行により高アンモニア血症を呈した大腸癌患者の一例	小井土 啓一	国立病院機構 横浜医療センター 薬剤部
P-15	高齢者DLBCLにおけるPola-R-CHP療法の安全性に関する検討	坂本 竜平	和泉市立総合医療センター 薬剤部
P-16	膀胱癌患者に対するアルブミン懸濁型パクリタキセル + ゲムシタビン療法の継続性を予測する因子の検討	酒井 陽香	和歌山県立医科大学 薬学部
P-17	nal-IRI + 5-FU/I-LV療法における炎症及び栄養評価指標の検討	新地 瑠海	宮崎大学医学部附属病院 薬剤部
P-18	アルブミン懸濁型パクリタキセル + ゲムシタビン療法におけるホスネツピタントの安全性の検討	奥田 あんり	和歌山県立医科大学 薬学部
P-19	CDK4/6阻害薬の選択性の違いと顎骨壊死の関連性に関する薬剤疫学研究	野口 義紘	岐阜薬科大学 病院薬学研究室
P-20	DEC2はIGFBP4の発現制御を介して膀胱癌細胞のゲムシタビン感受性を増大させる	南 謙太郎	宮崎大学医学部附属病院 薬剤部
P-21	Toxicity over Time解析を用いたカペシタビンまたはレゴラフェニブによる手足症候群の経時的変化	佐野 元彦	星薬科大学 臨床評価学研究室
P-22	自発報告データベースを用いたBCR-ABLチロシンキナーゼ阻害剤の心毒性の評価	向井 淳治	和泉市立総合医療センター 薬剤部
P-23	薬剤師による診察前面談が看護師業務と外来化学療法に与える影響（看護師対象アンケート調査）	坂本 靖宜	横浜市立大学附属病院 薬剤部
P-24	連携充実加算の取組みについて	山田 剛	大分県立病院 外来化学療法室